

□日時：2020年（令和2年）10月25日（日）10時～15時  
□場所：午前・ウエルパルクまもと（熊本市中央区大江5丁目）会議室  
午後・熊本博物館（熊本市中央区古京町）13時半～15時

## 第13回「ピースくまもと」設立準備会事務局会概要報告 10/28版

### 1 開会挨拶

……ピースくまもと設立準備会事務局会代表 小山和作  
前回に引き続き協議を深めて、一致団結して活動を進めていきましょう。一日を通しての協議となりますが、どうぞよろしくお願ひします。



小山和作代表の開会挨拶

### 2 参加者自己紹介（※順不同敬称略）

□小山和作、安藤富士記、上村真理子、矢加部和幸、堀浩太郎、上田欣也、末永 崇・乃美勝彦（午後参加）、高谷和生

□欠席：久米野安俊、有馬信一、三隅康資、二見正輝、勝又俊一、宮川和夫、伊藤利明、高野誠二、吉田正昭、多田喜一郎、戸崎孝行、永田 昭、赤瀬 恵、青木 栄、山野幸司、宮本英一

□オブザーバー：本田清悟、中山 直、鄭 一止、黒木伸男、児玉 望、中熊慎一、中宮俊幸、船崎三義、熊本県社会福祉課高島幸一課長補佐、熊本市政策局総合政策部政策企画課吉坂副課長、熊本市教育委員会事務局教育総務部熊本博物館坂本館長補佐

### 3 午前の部 概要報告・全体協議

#### (1) 「熊日戦後75年 くまもと戦争遺産をめぐる旅」について 資料1

□9/26・27、10/10・11で熊日様共催での実施状況報告

□見学会は9月27日が21名、10月11日が20名、事前セミナーには毎回30名の参加で、大変好評であった。熊日朝刊9/27・28の戦後75年記事、10/13夕刊「一筆」へ共同通信熊本支局長山本さん紹介記事で「めぐる旅」を掲載・紹介

□東海大高野先生による参加者モニター調査(個票)を紹介する。



午前中 全体協議の様子

#### (2) 前回までの各部会等協議の確認

ア A部会：コンセプト 「熊本に戦争と平和のミュージアム設立の基本構想（案）」資料2

□「1 趣旨」は9/28案の一部を記載。「2 目指す3つの姿」を、ピースあいち案に変えて掲載。「3 特徴と性格」は、全6項目「次世代の子ども達へ、歴史的な客観性と整合性、熊本の特殊性、平和と公正をすべての人に、調査研究性・情報センター性・ウェブサイト機能性、犠牲者追悼と平和祈念」の具体内容を検討する。「5 展示構成」は5項目「Ⅰ熊本の戦争前史、Ⅱ熊本空襲、Ⅲ熊本の戦争の歴史、Ⅳ昭和の戦争時代、Ⅴ戦後の熊本・平和社会の実現・未来に向けて」の構成としたい。Ⅰ・Ⅱ・Ⅴ項は内容の検討をさらに行う。

□「6 全体規模」での「例の提示」では、「1 自主建設例」として、「ピースあいち」と北九州市で建設計画が進んでいる「(仮称)平和祈念館」を、「2 複合施設内設置例」として「岡山空襲展示室」と「大村近現代展示室」を示した。各施設には概要を事務局から問い合わせを行い具体内容を記載したい。

□骨子案は次回に再提出して、内容協議する。

イ B部会：調査・展示・保存 部会協議内容の確認 ※展示概要・資料3

□展示部門では「Ⅰ熊本空襲と熊本戦争遺跡、Ⅱ軍都熊本の戦争の歴史、Ⅲ昭和の戦争時代、Ⅳ未来に向けて」の構成を考えている。

□寄贈品として熊本由来資料として「ブーゲンビル島・全国ソロモン会での200点資料」「23師団 ノモンハン線木庭元治少尉資料」「井置栄一捜索隊長資料」がある。

□「戦争前史・熊本空襲・未来に向けて」項は、骨子案との整合性を今後整える。部会内でもできる所から協議を深めていただきたい

□今後は「上村資料・ブーゲンビル島資料・新老人の会資料」のリストアップ・デジタル作業を進めてほしい。また、「熊本に特化した資料」の一定ボリュームを提示し、不足分は県民からの寄贈資料の呼びかけもやりたい。

□当初の「館オープン・展示スタート」を、どの様な形で進めるかの検討が必要だ。上村さ

ん資料と当面準備できる熊本資料を中心として今後展示イメージを高めていきたい。

#### ウ C部会：体制整備 部会協議内容の確認 ※募金・事務局・活動推進体制の口頭紹介

- A・B部会の協議を基に、設置スタイル・場所・資金問題等の整理がさらに必要
- 部会担当者自身の体調や加齢等により協議を深める事が困難である。また構成員となる部会員の出席が悪く、十分な協議につながっていない。部会への負担が大きく、事務局会の進めた方を検討すべきではないか。また、A・B・C部会の枠を超えて議論をすべき項目もあり、この事柄を整理すべきではないか。
- 当面の課題として「募金受け皿の体制整備である法人化、事務局整備」検討がある。

#### エ 活動賛同者及び趣意書記載の「発起人（小山私案）」 資料5

- 項目「政界・官界・各種団体・財界・学会・医療界・マスコミ・個人」では基本役職名を標記して、130人程度の私案を作成した。
- 「平和を希求する」としての視点で、各所への「呼びかけ」「賛同者」を募っていく、大きな県民運動として進めていく事が大事ではなからうか。ここでは、特定の「歴史の価値観・評価」を持ち込んではいけないのではないだろうか。
- 次回の「趣意書案・骨子案」の検討時に、さらに進めていきたい。

#### (3)「熊本に戦争と平和のミュージアム建設を呼びかける会」アピール・趣意書（案）の検討

資料6

- 文言整理と文章位置の移動、文脈の整理を行う。文中の「平和なとき」「多大な迷惑も」「国外で戦争する国にしないように」の検討が必要。また、全国の先進事例に唯一地上戦が行われた沖縄の平和資料館博物館を入れた方がよいのではないか。
- 趣意書内に現状認識として「全国各地の最新の平和資料館の例示が必要か」要検討
- 日赤・平和活動の発祥が、熊本地域の特徴であるので、現在の平和につながる「平和」をさらに語る必要がある。
- 「呼びかけ人」と「賛同者」との「仕分けと位置づけ」の確認が必要
- 「熊本県、熊本市には、その設立に向けて支援をお願いします」文言の理解と整合性の検討が必要。行政に支援をお願いする事で、さらにハードルがあがる場面もあるのではないか。
- 趣意書構成として「戦後75年の現状認識、全国・県内での平和資料館の設立状況、目指す三つの姿、SDGsでの持続可能な社会実現」で組立られており、文脈としては良く理解できる。ただ、趣意書で最も語るべき「設立への思い」を前面に出すべきではないか。全員の設立への熱い思いを、さらに文面に込める工夫が必要だ。
- 別添「10/28案」を修正案とし、次回に再度検討

#### 4 連絡事項、その他

- 「ピースくまもと設立準備会 事務局会協議計画（案）」20201025版  
資料7 資料確認
- 「熊本に戦争と平和のミュージアム設立イメージ図」20201025版  
資料8 資料確認
- 次回「第14回ピースくまもと設立準備会事務局会」は「11月29日（日）午後1：30～」 ウエルパルクまもと会議室

#### 5 閉会挨拶

…ピースくまもと設立準備会事務局会副代表 上村真理子  
本日も県・市からは「趣意書内容・呼びかけ人」等への的確なご指摘をいただきありがとうございました。現状では、各部会での協議が十分に機能していませんが、小山さんからの呼びかけ人候補私案の提示、参加の皆さん方からの趣意書内容検討も進み、改めて熊本県民運動としての取組が再確認ができました。



上村真理子副代表の  
閉会挨拶

- 会議後でオブザーバー参加の熊本市吉坂様への事務局高谷からのお願い。  
事務局体制整備、募金受け皿づくりの具体的手続きの諸準備を進めていきたいので、担当窓口をご紹介いただき、場合によっては本会での説明をお願いしたい。

#### 6 午後の部 熊本博物館でアジア・太平洋戦争期関連資料の実見

※坂本館長補佐及び福西学芸員対応

#### □講堂にて資料実見 13：30～14：30

アジア・太平洋戦争期の資料14点・銃後に関する市民からの寄贈資料

○空襲関連資料 防空頭巾（型紙利用による民政品・女性用）、女性用もんぺ、罹災証明

- 書（謄写版刷り・熊本市長・自治会長印）、告諭（熊本空襲での熊本県知事）、
- 防毒マスク（民政用で陽刻：昭14弾用甲・昭化の標記）、時局防空必携（昭和18年 熊本県警防部）
- 米軍12.7ミリ機銃弾、緑色着色の徹甲弾）他1点
- 背囊（ミズノ製タグ付き・チャンピオンマーク標記）
- 一般軍用品 在郷軍人手帳、配給切符、奉公袋、慰問袋



□館内の展示見学 14:30～15:00

- 空襲関係資料展示 熊本市街地の戦災写真、M69小型焼夷弾（市民寄贈） ※E-46集束焼夷弾図・各パーツ資料の寄贈は無し、他爆弾資料も無し
- 伝単（収集時の様子も記載あり）
- 紀元二千六百年幟、木銃、水筒、略帽、国防婦人会襷、満州からの引揚背囊、兵士遺書



- 熊本博物館太平洋戦争期展示コーナー見学の様子
- 熊本空襲後の市街地写真（熊日蔵）
- M76小型焼夷弾（個人寄贈・燃焼剤なし・ストリーマーなし、頭部蓋なし、安全ピン離脱）
- 皇紀二千六百年奉祝幟・熊本市出水町下長溝地区



連絡先

ピースくまもと設立準備会 事務局 高谷 和生  
 自宅 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5  
 個人携帯 090-1513-5528  
 Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp  
<https://kumamoto-senseki.net/peace-kumamoto/>